



成人図書室だより 4・5月号



今年度の成人図書室だよりのテーマは偉人の記念日です。

4月24日は牧野富太郎の誕生日です

牧野富太郎は、「日本の植物学の父」の名で広く知られる植物学者です。

高知県に生まれ、豊かな自然の中で幼少期から植物に興味を持ち、独学で知識を身につけました。上京し、大学の研究室への出入りを許されると、植物分類学の研究に没頭するようになります。その後、研究に夢中になるあまり生家が傾いたり、研究室を追い出されたりするなど、様々なことが起こります。しかし、植物への熱意を失わず、新種「ヤマトグサ」の発見や『牧野日本植物図鑑』を刊行するなど、植物学会に多大なる功績を残しました。

参考：『もっと知りたい牧野富太郎』池田 博／著 東京美術 2023



関連本をご紹介します

『牧野富太郎と、山』 牧野 富太郎／著 山と溪谷社 2023年

牧野富太郎は植物の観察・採集のため日本各地の山々を登っていました。その際に執筆したエッセイをまとめた1冊です。幼少期に登った山の思い出、植物に夢中になるあまり遭難しかけたエピソードなどから、山と植物の魅力が存分に伝わってきます。

文庫本です

470

マキ

『ボタニカ』 朝井 まかて／著 祥伝社 2022年

幼少期は植物に話しかけ、所属していた研究室は突然追い出され、独学で研究に没頭するあまり借金まみれ。波乱万丈な人生を送りつつも、植物に対する愛情と探究心を持ち続けた牧野富太郎の生涯を描いた、長編小説です。

913.6

アサ

関連する図書は、他にもございます。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。



4月のテーマ展示



ティーンズコーナーへようこそ☆2024

「子ども読書の日」にちなんで、中高生向けの本を集めた「ティーンズコーナー」の本を、場所を拡大して紹介します。ティーンズコーナーは、中央図書館2階、成人カウンター付近の本棚にあります！おすすめの本やイベントの情報などが載っているティーンズ通信も置いてあります。ぜひご覧ください！

『プロの履歴書からわかる生きものの仕事』

松橋 利光／著 山と溪谷社 2023年

飼育員、獣医師、トリマー、ペットショップ店員。生きものに関わる仕事に就きたい、憧れがあるという人もいるのではないのでしょうか。本書は、実際に動物と関わる職業に就いている人が、どういった学校に通い資格を取得したのか、どんなきっかけでその道を志したのかが履歴書形式で書かれています。あなたの知らない職業に出会うきっかけにもなるかもしれませんよ。

480
マ

『推し短歌入門 How to Compose Oshi - Tanka』

榊原 紘／著 左右社 2023年

近年 SNS などでも話題の短歌。なんだかハードルが高そう…とと思っているあなた、まずは「推し」への気持ちを短歌にしてみませんか？本書は、俳人である著者が実際に「推し」をイメージして詠んだ短歌の解説から始まっています。短歌のチュートリアルから、じっくり詠みたい人のための応用編まで載っているため、理解度に合わせて読み進めることができます。

911.1
サ

『ゴールデンタイムの消費期限』 斜線堂 有紀／著 祥伝社 2021年

ある事件がきっかけで書けなくなった高校生小説家の文彰のもとに、1通の手紙が届く。それは若き元・天才を集め、AIの指導のもとに、より良い作品を生み出す実験のための招待状だった。実験に協力をすれば、昔のような名声が戻ってくると考えた文彰の心は揺らぎ始め…。AIの力を借りた作品は本当に自分の作品と言えるのか、それとも天才に返り咲くにはどんな手段をも使わなければいけないのか。才能に翻弄される若者を描いた、青春群像劇。

913.6
シヤ

5月のテーマ展示



眺めて楽しい本



見ているだけで心が晴れるような、「見るだけでも楽しめる」本を集めました。

『ポケット製本図鑑』

『デザインのひきだし』編集部／編 グラフィック社 2023年

よく見かける上製本、開きやすい並製本、雑誌などに採用されている中綴じなど、60種類以上もの製本の方法をフルカラーで紹介した図鑑です。一見同じように見える本でも、実際は「こんなにも製本方法が違ったんだ!」と、驚くことうけあいです。どの製本方法がどこの会社で製本可能かも掲載されているので、実際に本を作りたいと考えている人は参考にできます。

022.8
ポ

『地図の博物図鑑』

ベッツィ・メイソン、グレッグ・ミラー／著 藤井 留美／訳
日経ナショナルジオグラフィック社 2020年

我々が日常的に使う地図から、もうお目にかかれない希少な地図、月面の様子を初めてあらわした地図、ドラマの小道具の地図まで、多種多様な地図を紹介した図鑑です。地図の写真だけではなく、その地図が何の目的で、どうやって制作され、与えた影響はなんなのか、といったことまで詳しく解説されています。

大型本です(*)

448.9
×

『世界の橋の秘密ヒストリア』

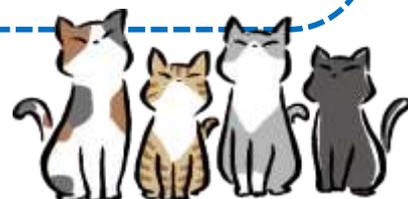
シュティス・デュプレ／著 牧尾 晴喜／訳 エクスナレッジ 2020年

誰もが1度は使ったことのある橋は、作られた年代や国、利用目的によってデザインや大きさが様々です。本書では、2000年前に作られたローマの水道橋から、現代の技術を駆使した橋まで、世界中の橋を紹介しています。映画に登場した橋、歩行者用の橋、屋根付きの橋などジャンル別に解説をしたコラムも掲載しています。

大型本です

515
テ

テーマ図書は、カウンター横の書棚に多数展示しています。
お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。
(*)大型本は、本の背に黄色のシールが貼ってあります





2024 年春 読書の記録



日付	書名	著者名	メモ



ティーンズコーナーに 本棚が増えました！

「乙女の本棚シリーズ」「ちくまプリマー新書」が移動しました。

また、棚の1番上には中高生におすすめの本などを紹介する Teen's 通信が置いてあります。ぜひご覧ください！



遊びにきてね～！

京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

☎075(802)3133



■開館時間

平日：9時30分から20時まで（児童図書室は17時まで）

土日祝日：9時30分から17時まで

■休館日

毎週火曜日、年末年始

※京都市図書館の事業は（公財）京都市生涯学習振興財団が実施しています